

笑顔にあふれ 瞳輝く本城小!!

2月3日(金)

○「銚子電力出前授業」を行いました。
 ～銚子電力 発電教室 再エネクイズ大会 in 本城小学校～



1月26日(木)に、銚子電力の伊東様をお招きし、5・6年生を対象に再生可能エネルギーについての講話とクイズ大会をしていただきました。地球温暖化を止めるためにも二酸化炭素の排出量を抑えることが大切であり、そのためにも再生エネルギーをどんどん普及していかなければならないという内容のお話を、クイズをはさみながらわかりやすく説明していただきました。最後の質問コーナーでは、伊東様がこれまで訪問した学校の中で1番多かったとっていただくほど、多くの子

もたちから質問が出ていました。身近な環境について興味をもってもらえたら嬉しいです。

○「1月」終了! ～3学期も学習や体力づくりによく頑張っています!～
 1月の学習・生活について、子どもたちの評価をご覧ください。

☆1月の(は)、	1年生 18人	2年生 35人	3年生 18人	4年生 26人	5年生 24人	6年生 37人
学習(知)はわかりましたか。	100%	100%	100%	100%	95%	96%
やさしい気持ち(徳)で生活できましたか。	100%	94%	100%	100%	100%	96%
健康(体)に生活できましたか。	100%	100%	94%	100%	91%	96%

※優しい気持ち：思いやりのある言動等 健康：体力アップ(運動による)も含む

1月は、銚子でも雪が降るなど寒い日が続き、体調管理も大変だったと思います。そして、市内でも新型コロナの感染状況が高止まりするなど、とにかく子どもたちの健康を心配するひと月でした。ただ、お陰様で、子どもたちはいつもどおり元気に明るく学校生活を送ってくれました。特に雪が降った日に、グラウンドで全校児童が雪遊びをする様子が見られるなど、寒い中でもほっこりする一幕もあり、嬉しく思いました。

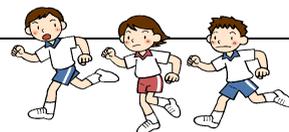
2月も、子どもたちと共に明るく元気な本城小を目指します!

○青少協ドッジボール大会
 準優勝!～おめでとう～



○市民マラソン(2/5(日)実施)参加者
 ～頑張りましたね!～

2の1	くん	2の1	さん
2の2	くん	2の2	くん
3の1	さん	4の1	くん
4の1	くん	5の1	くん
5の1	さん	5の1	さん
6の1	さん		



○学校にも「鬼？」が現れ、子どもたちが追い払いました！？

おに そと ふく うち
鬼は外 福は内

福（楽しいこと・うれしいこと）がいっぱいの2月に
なあれ！！



2月3日（金）は「節分の日」でしたが、学校にも鬼が現れ、鬼とわかるや一斉に子どもたちから追い払われました。子どもたちにもぜひ「福」がくるとよいですね。



○2月全校集会 校長の話（2月1日（水）実施）

みなさん、おはようございます。3学期もあっという間にひと月が過ぎましたね。市内のコロナの状況も落ち着いてきたようですので、今日は、全校で集まり、みなさんの顔を見ながらお話をしたいと思います。

さて、みなさんは、毎日の学校生活の中で、だれかに何かをしてもらったり、反対にだれかに何かをしてあげたりすることがあると思います。自分が困っているときに手伝ってもらったり、誕生日にお祝いをしてもらったりすると嬉しいですね。反対に、だれかが困っているときに手伝ってあげたり、何かプレゼントをあげたりすると、相手の人も喜んでくれるでしょう。

ところで、もしもこんな人がいたらどう思いますか。その人は、だれかが困っているのを見ても自分から手伝ったり、助けてあげたりはしません。自分が助けてもらったときは、そのお返しに助けてあげます。お友だちの誕生日にプレゼントをあげたりもしません。お友だちからプレゼントをもらったときは、そのお返しにプレゼントをあげます。こんなふうに、だれから何かしてもらえばお返しに何かをしてあげます。自分からしてあげるということはありません。こんな人がいたら、どう思うでしょうか。

これに似た話を、二宮金治郎という江戸時代の人がお話に書いていますので、それを紹介してみましょう。

ある日、金治郎さんが使っていた鍬（くわ）、「鍬とは土を耕して畑にするための道具です。」その鍬が壊れてしまったので、お隣の家に行き、鍬を貸してくださいとお願いをしたそうです。

すると、隣の家のおじいさんはこう言いました。

「今からうちの畑を耕して野菜の種を蒔くところだから、種をまきおえるまでは貸すことはできないね」

そう言われて、金治郎さんはこんなふうに答えました。「自分は今、家に帰ったとしても、鍬が使えないからすことがありません。ですから、私がおじいさんの家の畑を耕してあげましょう。さあ、種をお渡しください。ついでに種蒔きまでして差し上げます」

金治郎さんはそう言って、おじいさんの家の畑を耕し、野菜の種を蒔いてあげました。そしてその後で、その鍬を借りて自分の家の仕事をしました。

自分の家の畑を耕し終わってから鍬を返しに行くと、おじいさんがこう言いました。

「今度、鍬でも何でも困ったことがあれば何でも言いなさい。必ず用意してあげるよ」

おじいさんがこう言ったのは、金治郎さんの行いに感激したからですね。金治郎さんは、鍬を借りる前にお仕事を手伝ったわけです。そうすると、おじいさんは、鍬を貸してもいないのに金治郎さんが自分の家の畑を耕して種まで蒔いてくれた、親切でここまでやってくれた、と思うわけです。

反対に、金治郎さんが鍬を借りて使って、そのお礼ですと言って別の日におじいさんの家の畑を耕したとしても、鍬を貸してあげたお礼だから当たり前かなと思ってしまうでしょう。

このように、同じことをするにしても、自分から先にすると、相手の人の気持ちが大きく変わることがあります。だれかに何かをやってもらったから何かをしてあげるというのではなく、何かをしてもらう前に自分からしてあげる、だれかがする前に自分がする。そういうことを心がけていると、同じことをするにしても、相手の人がさらに喜んでくれます。そして、そのことは、結局は自分をよく思ってくれることになり、自分のためにもなるではないでしょうか。みなさんも、相手のためによいと思えることは進んでやってあげましょう。

○お知らせ

・市教育委員会では、例年、「ふるさと学習」の一環として、「醤油づくり体験」を実施していましたが、新型コロナウイルス感染症の状況等から、次年度についても実施をとりやめとするとのことでしたので、お知らせします。

・校内に掲示してある「朝日写真ニュース」ですが、毎年、長塚町にあります『有名雪重機』様からの寄贈によって児童に見せることができます。来年度も同様に寄贈していただけることになりましたのでお知らせします。ありがとうございます。